外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

タジキスタンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2023 年 08 月 31 日（継続）

アフガニスタンとの国境付近、 ソグド州イスファラ市ヴォルフ地区 （キルギス領に囲まれた飛び地）	〔レベル 3〕 「渡航はやめてください。（渡航中止勧告）」（継続）
共和国直轄地：ログーン市以東、 ソグド州：キルギスとの国境付近、フェルガナ盆地の ウズベキスタンとの国境付近及びクヒストニ・マスチョ郡（ザラフシャン川のアイニ郡より上流部分）、 ハトロン州：アフガニスタンとの国境を有する郡 （上記アフガニスタンとの国境付近を除く）、 ゴルノ・バダフシャン自治州全土 （上記アフガニスタンとの国境付近を除く）	〔レベル 2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続）
上記を除くタジキスタン全土	〔レベル 1〕 「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

●アフガニスタンとの国境付近の治安情勢は、非常に緊迫しています。同地域は、イスラム過激派組織の勢力が強い隣国アフガニスタンからの影響を受けやすく、依然として麻薬密輸グループの摘発も散見されます。ここ数年、アフガニスタンの北部に「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）を含むイスラム過激派武装勢力が多数流入していると言われている中、2021 年以降のアフガニスタンでの政情不安の影響で両国の国境付近は一層緊迫した状況が続き、今後どのように事態が進むのか予断を許さない状況です。どのような目的でも同地域への渡航は止めてください。

●ソグド州イスファラ市ヴォルフ地区（キルギス領に囲まれた飛び地）は、イスラム過激派組織の越境ルート、麻薬密輸グループの麻薬運搬ルートとして頻繁に利用されている模様です。主な理由として、同地区は、イスラム過激派組織の活動が活発なフェルガナ盆地に隣接していること、さらには山岳地帯を含むため国境警備も困難なことなどが挙げられます。さらに、近年タジキスタン・キルギス国境では、国境問題を端とする暴動などが発生し、死傷者が出る事態となっています。国境警備隊同士の銃撃戦にまで発展する事案も散見され、国境沿いは緊張状態が続いています。どのような目的でも同地域への渡航は止めてください。

【概況】

(1) タジキスタンでは、1997 年に政府とイスラム過激派を含む反政府勢力との間で和平合意が成立し、以降、国内の治安情勢は徐々に改善していきました。2005 年以降は、反政府勢力の活動が再び活発化するに伴い、一時は治安情勢も悪化しましたが、2011 年には反政府勢力の主流派が国内から一掃されています。

(2) ただし、2015 年 3 月にはタジキスタン国内での戦闘を主張する ISIL タジキスタン人戦闘員によるインターネット動画の投稿が確認され、同年 5 月にはタジキスタン内務省特殊部隊（OMON）元司令官が ISIL に参加したことを公表し、タジキスタンにイスラム法に基づく国家の創設を宣言したほか、多数のタジキスタン人がシリア、イラクでの戦闘に参加していたこと等から、タジキスタン国内においても、イスラム過激派による事件発生の潜在的脅威は存在するとみられます。

(3) アフガニスタンとの国境付近の治安情勢は、イスラム過激派組織の勢力が強い隣国アフガニスタンからの影響を受けやすく、依然として麻薬密輸グループの摘発も散見されています。ここ数年、アフガニスタン北部に ISIL を含むイスラム過激派武装勢力が多数流入しているとされている中、昨今のアフガニスタン情勢を受け、国境周辺情勢は非常に緊迫し、今後どのように事態が進展するか予断を許さない状況です。

(4) タジキスタン東部ゴルノ・バダフシャン自治州のアフガニスタン国境付近は、ソ連から独立以降、長年治安機関と反政府勢力の衝突が頻発している地域です。最近では、2021 年 11 月及び 2022 年 5 月に、治安機関に対する住民のデモが行われ、死傷者が出る事態となりました。今後も厳重な警戒が必要です。

(5) 上記以外の地域においても、インフレが進み、生活需要品を他国からの輸入に頼る経済に多大な影響を及ぼしていることから、生活苦を背景にした一般犯罪の増加による治安悪化が懸念されています。比較的裕福と見なされている日本人をはじめとする外国人が犯罪行為の標的となる可能性がありますので、十分注意が必要です。

(6) テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。
近年では、単独犯によるローンウルフ型テロや、一般市民が多く集まるレストラン、ショッピングモール、公共交通機関等のいわゆる「ソフトターゲット」を標的としたテロが世界各地で頻発しており、こうしたテロの発生を未然に防ぐことは困難です。
テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロに巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。
また、タジキスタンのテロや誘拐に関する情報については、テロ・誘拐情勢（https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_201.html ）も参照してください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、
外務省海外安全ホームページ　：　http://www.anzen.mofa.go.jp
http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp（携帯版）にてご確認ください
または、
外務省領事サービスセンター　　電話：(外務省代表) 03-3580-3311　(内線) 2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く）　電話：(代表) 03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連）　電話：(代表) 03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル 1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。